雪舟福祉会TIMES

Vol.13　地域の皆様に雪舟福祉会の地域への取り組みを知っていただくための広報紙です。

人と向き合い、人に寄り添う。

技能実習生の受け入れスタート





9月よりインドネシアからの女性2名の技能実習生を新しい仲間として迎えました。温厚で明るく、おだやかな性格が特徴です。仕事に対する態度もまじめで、私たち日本人職員もその姿勢から日々良い刺激を受けています。まだ日本語は勉強中ですが、優しく丁寧な関わりにより、ご利用者様も打ち解けているようです。彼女たちの頑張っている姿を見守っていただけたらと思います。

介護人材の育成現場を視察 ～インドネシア～



岡山県の「外国人介護人材獲得強化事業」を活用し、県内6法人とともにインドネシア共和国を訪問しました。この事業は、海外採用の経験を県内法人で共有し、現地採用に取り組める法人を増やしていくことを目的としています。現地では介護人材の養成校や送り出し機関を訪れ、学習の様子や生活環境、文化、宗教について理解を深めました。





今後、技能実習制度は「育成就労制度」へ移行し、日本の介護現場で働く外国人材はさらに増えていくことが見込まれます。雪舟福祉会では、これまで現場を支えてきた職員一人ひとりを大切にしながら、新たな仲間とともに、ご利用者様の安心した暮らしを守るため、人材の確保と育成に取り組んでまいります。

もしものときも、安心を支えるために

地震や豪雨など、災害はいつ起こるかわかりません。
雪舟福祉会では、災害時にも利用者の皆様の安全と安心を守れるよう、日ごろから様々な備えを行っています。

災害時の備え「BCP」（業務継続計画）



災害時にも必要なサービスをできる限り継続できるよう、BCPを策定しています。職員間で内容を共有し、いざという時に落ち着いて対応ができるよう備えています。

もしもの時に備えて「備蓄」



災害による物流の停止などに備え、飲料水や非常食、介護用品などを備蓄しています。定期的に数量や使用期限を確認し、必要な時にすぐに使用できるよう管理しています。

みんなで確認「防災訓練」



いざというときに安全に避難できるよう、定期的に防災訓練や研修をおこなっています。訓練後には振り返りを行い、より安全な対応ができるよう改善を重ねています。

停電時に支える「自家発電」



停電に備え、自家発電を設置しています。災害時にも必要な電力を確保し、施設での生活をできる限り維持できるよう備えています。

地域を支える「福祉避難所」



災害時に一般の避難所での生活が難しい高齢者の方を受け入れる「福祉避難所」として指定されています。いざという時に地域の皆さまが安心して過ごせるよう、関係機関との連携や受け入れ体制を整えています。

「備えること」安心につながる　一つひとつの備えは、もしもの時に利用者の皆様を守る大切な力になります。これからも、雪舟福祉会は、防災への取り組みを積み重ね、利用者の皆様が安心して過ごせる施設づくりを進めていきます。

お知らせ

ほのぼの小規模保育園 ［ 小規模保育園 ］




今年4月に開園しました！

今年4月に開園した当園も工事が無事に完了し、新しく快適な環境で毎日を過ごしています。

当初は保護者の方と離れる寂しさから涙を流していた子どもたちも、今ではすっかり園生活に慣れ、笑顔をたくさん見せてくれています。「○○ちゃん！」とお友だちの名前を呼び合い、保育士やお友だちとの関わりを楽しんでいます。

夏には好きな味を選んでかき氷を食べたり、いちご組さん（2歳児）が牧場で牛を見て美味しいジェラートを味わったりと、楽しい思い出ができました。これからも一人ひとりに寄り添い、温かい園生活を育んでまいります。

地域のインフォメーション

「とんばら食堂」のご紹介！

「とんばら食堂」は神在小学校近くで月1回開催している地域食堂です。民生委員の「地域のことを知りたい」という思いと、住民の「地域の交流の場があればいいな」、「食事の用意が大変だ」などの声から始まりました。

そこでは、いつも40人ほどのお客さんが来られ、手打ちそばや手作りのおかずがおいしく食べれます。「今日もおいしい、また来るわ」と住民の方に大人気で、お客さん同士やスタッフの方と楽しく談笑されており、ほっとできる交流の場です。









デイサービス等の送迎職員に興味がある方はご連絡ください。
☎0866-96-0700㈹
担当：益川

活動情報など随時発信中！
雪舟福祉会　検索

Instagram　公式WEBサイト